

日 本 史 B

1 次の(1)～(5)の文章を読み、〔 ① 〕～〔 ⑩ 〕に最も適する語句を右ページの〔語群〕から1つ選び、記号で答えなさい。

- (1) 18世紀末より、日本の沿岸部には、オランダ以外の外国の船舶が接触を試みるようになっていった。1792(寛政4)年、根室に〔 ① 〕が来航し、漂流民を届けるとともに通商を求めた。ついで、1804(文化元)年には、〔 ② 〕が〔 ① 〕の持ち帰った入港許可証をもって〔 ③ 〕へ来航したが、幕府が冷淡に追い返したため、ロシア船は樺太や択捉島を攻撃した。
- (2) 1808(文化5)年には、イギリスの軍艦フェートン号が〔 ③ 〕に侵入した。その際、敵国となっていたオランダの商館員を人質にし、薪水・食糧を強要してやがて退去した。その後もイギリス船・アメリカ船が日本近海に出没したため、幕府は大名に命じて防備を固めさせた。それまで幕府は、異国船に対して薪水・食糧を供給して帰国させる方針をとっていたが、1825(文政8)年、〔 ④ 〕を出し、外国船を撃退するよう命じた。
- (3) 1837(天保8)年、アメリカ商船の〔 ⑤ 〕が〔 ⑥ 〕沖に接近し、日本人漂流民7人を送還して、日米交易をはかろうとしたが、幕府は〔 ④ 〕にもとづいて〔 ⑤ 〕を撃退させた。ところが、清国は〔 ⑦ 〕でイギリスに敗れて南京条約を結ぶ。この状況が伝わると、幕府は1842(天保13)年、〔 ④ 〕を緩和して、いわゆる天保の〔 ⑧ 〕を出した。

(4) 1846(弘化3)年、アメリカ東インド艦隊司令長官ビッドルが〔 ⑥ 〕に来航して通商を要求したが、幕府は拒絶した。しかし、アメリカ合衆国がメキシコからカリフォルニアを奪い、その領土が太平洋岸に到達すると、ますます日本の開国を必要とするようになった。1853(嘉永6)年、アメリカ東インド艦隊司令長官〔 ⑨ 〕は、軍艦4隻を率いて〔 ⑥ 〕沖に現われ、フィルモア大統領の国書を提出して、日本の開国を求めた。ついで、7月にはロシアの使節〔 ⑩ 〕も〔 ③ 〕にきて、開国と国境の画定を要求した。

(5) 〔 ⑨ 〕来航後、老中首座阿部正弘は、それまでの方針を変えて朝廷への報告を行い、諸大名や幕臣にも意見を述べさせて、挙国的に対策を立てようとした。しかし、この措置は朝廷の権威を高め、諸大名の発言力を強めるもので、幕政を転換させる契機となった。翌年1月、〔 ⑨ 〕は7隻の艦隊を率いてふたたび来航し、条約の締結を強硬に迫った。その結果、3月には日米和親条約が結ばれることとなった。ついで、〔 ⑩ 〕もふたたび来航し、下田で日露和親条約を結んだ。

〔語 群〕

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| (ア) 五品江戸廻送令 | (イ) ラクスマン | (ウ) レザノフ |
| (エ) 長崎 | (オ) 薪水給与令 | (カ) 品川 |
| (キ) ゴンチャロフ | (ク) 禁教令 | (ケ) 異国船打払令 |
| (コ) モリソン号 | (サ) ペリー | (シ) 浦賀 |
| (ス) ゴローウニン | (セ) アヘン戦争 | (ソ) クリミア戦争 |
| (タ) 箱館 | (チ) モロトフ | (ツ) ノルマントン号 |
| (テ) ハリス | (ト) プチャーチン | |

2

次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

【史料 A】 辛亥，太政官奏すらく，「頃者百姓漸く多くして，田池窄狭なり。望み請ふらくは，天下に勧め課せて，田疇を開闢かしめん。其の新たに溝池を造り，開墾を営む者有らば，多少を限らず，給ひて(ア)に伝へしめん。若し旧き溝池を逐はば，其の(イ)に給せん」と。(原漢文)

【史料 B】 乙丑，詔して曰く，「聞くならく，墾田は(ウ)に依りて，限満つる後，例に依りて取授す。是に由りて農夫怠倦して，開ける地復た荒る，と。今より以後，任に私財と為し，(ア)(イ)を論ずること無く，咸悉くに永年取る莫れ。(後略) (原漢文)

律令国家の税物である租の徴収には，耕作すべき田地の存在が不可欠である。722(養老6)年には，人口増加と田地不足^(a)に対処すべく百万町歩開墾計画^(b)が出され，国司・郡司の指揮のもと新たな田地の獲得が奨励された。翌723(養老7)年には【史料 A】が示された。開墾の意欲を増すために同法では，一定条件を満たせば期限付きで，田地の私有を認めるとしたが，その効果は^(c)限定的であったと見られている。

これらを前史として743(天平15)年に発布されたのが【史料 B】である。ここでは【史料 A】が定めた期限を取り除いて永年私有を認めるとともに，田地の拡大に伴う規程を整備した^(d)。この結果，貴族や寺院，地方の郡司や富豪の者らへの墾田の集積を生じたため，同法には，以降の大土地所有の展開に道を開いたものとの評価がある。

問1. 下線部(a)について，(1)～(3)に答えなさい。

- (1) 国家所有の田地を戸籍に基づき6歳以上の男女に貸し与える制度を何というか。漢字で正確に答えなさい。
- (2) この制度により，6歳以上の男女に貸し与えられた田地を何というか。漢字で正確に答えなさい。

(3) この田地は良男に2段が班給された。良女に与えられたのはいくらか。正しいものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 1段 (イ) 1段120歩
(ウ) 1段240歩 (エ) 2段

問2. 下線部(b)について、(1)～(2)に答えなさい。

(1) この時、政府の指導者の地位にあり、同施策を主導したと考えられるのは誰か。漢字で正確に答えなさい。

(2) この人物の説明として誤っているものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 天智、天武の両天皇の孫にあたり、父は草壁皇子である。
(イ) その邸宅は、平城京左京三条二坊にあったことが確認されている。
(ウ) 藤原不比等の死後、皇親勢力の代表として左大臣にまでのぼりつめる。
(エ) 光明子立后を企てた藤原四子と鋭く対立し、729(天平元)年に自害する。

問3. 下線部(c)について、(1)～(4)に答えなさい。

(1) 【史料A】および【史料B】の(ア)(イ)に入る言葉を、漢字で正確に答えなさい。

(2) 「一定条件」とは、あるものを新造することである。【史料A】から該当する言葉を漢字2字で答えなさい。

(3) 【史料A】および【史料B】の出典は奈良時代を編年体で記したものである。その書物の名を漢字で正確に答えなさい。

(4) 【史料A】および【史料B】を含む六国史のうち、最初に編纂された書物の名を漢字で正確に答えなさい。

問4. 下線部(d)について、(1)～(4)に答えなさい。

(1) 【史料B】の(ウ)には、以前に発布された法を別の表現で示す言葉が入る。年号を含むその言葉として正しいものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 和銅三年の格 (イ) 和銅五年の格
(ウ) 養老五年の格 (エ) 養老七年の格

(2) 永年私有を認めた新たな法制度のことを何というか。漢字で正確に答えなさい。

(3) 【史料B】と同年に起きたことは何か。正しいものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 造東大寺司の設置 (イ) 国分寺建立の詔
(ウ) 大仏造立の詔 (エ) 大仏開眼供養会の挙行

(4) 【史料B】の「永年取る莫れ」を契機に、8～9世紀にかけて成立した大土地支配の形態を後に広がることとなる寄進地系荘園に対して何というか。漢字で正確に答えなさい。

3

次の史料を読み、下記の問いに答えなさい。

【史料X】

(延久元年)寛徳二年以後の新立荘園を停止すべし。縦へ彼の年以往といへども、立券^(a)分明ならずして国務に妨げあらば、同じく停止の由宣下す。

(『百鍊抄』)

【史料Y】

延久ノ記録所^(b)トテハジメテヲカレタリケルハ、諸国七道ノ所領ノ宣旨官符モナクテ公田ヲカスル事、一天四海ノ巨害ナリトキコシメシツメテアリケルハ、スナハチ宇治殿^(c)ノ時、一ノ所^(d)ノ御領御領トノミ云テ、荘園諸国ニミチテ受領^(e)ノツトメタヘガタシナド云ヲ、キコシメシモチタリケルニコソ。

(『愚管抄』)

問1. 【史料X】に関する説明として誤っているものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 寛徳二年以後成立した荘園は停止することが明言されている。
- (イ) 寛徳二年以前の荘園であっても証拠書類に不備がある場合は停止の対象となる。
- (ウ) 寛徳二年以前の荘園であっても国務に妨げがある場合は停止の対象となる。
- (エ) 出典の『百鍊抄』は天台座主であった慈円による作品である。

問2. 下線部(a)について、(1)～(2)に答えなさい。

(1) 「立券」とは、荘園として認められた許可証のことを意味する。この「立券」を発行できる機関を以下から1つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 民部省 (イ) 刑部省 (ウ) 中務省 (エ) 治部省

(2) 「立券」と同様な意味を表す言葉を、【史料Y】の文中から探し、2字で答えなさい。

問3. 下線部(b)について、(1)～(4)に答えなさい。

(1) 1069(延久1)年に設立された、この機関の正式名称を漢字で正確に答えなさい。

(2) この機関を設立した天皇は誰か。天皇名を漢字で正確に答えなさい。

(3) (2)の天皇によって新たに作られた統一桁を何というか。以下から1つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 京桁 (イ) 度量桁 (ウ) 宣旨桁 (エ) 四方桁

(4) 白河院は(2)の天皇の子であり、院政を始めた人物である。白河院が武士を登用した例として適切なものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 滝口の武士 (イ) 西面の武士 (ウ) 北面の武士 (エ) 朱雀の武士

問4. 下線部(c)の人物が建立した寺院を以下から1つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 法成寺 (イ) 平等院鳳凰堂

(ウ) 観心寺 (エ) 醍醐寺

問5. 下線部(d)は何を意味しているか。以下から1つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 撰閥家 (イ) 院近臣 (ウ) 幕府 (エ) 皇族

問6. 下線部(e)について、(1)~(2)に答えなさい。

(1) 「受領」の正しい説明を以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 任国に赴く国司に帯同して、政務を執行する。
- (イ) 任国に赴く国司の最上席者。
- (ウ) 遙任する国司の代理人として、地方に派遣される。
- (エ) 遙任する国司が成功により、任国を兼ねる。

(2) 『尾張国郡司百姓等解』に登場する受領は誰か。以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 藤原陳忠 (イ) 藤原家隆 (ウ) 藤原元命 (エ) 藤原道長

問7. 【史料Y】に関する説明として正しいものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 諸国の荘園が多すぎて、国司が任務を果たすことができない状況にある。
- (イ) 諸国に荘園が多すぎて、国司の仕事量が多すぎるという状況にある。
- (ウ) 諸国の荘園が減少したため、国司が任務を果たすことができない状況にある。
- (エ) 諸国の荘園が減少したため、国司の仕事量が多すぎるという状況にある。

4

次の文章 A～C を読み、下記の問いに答えなさい。

A： 13世紀初め、モンゴル高原にチンギス＝ハンが現れ、モンゴル諸部族を統合して、中央アジアから南ロシアまでを征服した。その孫、フビライ＝ハンは中国を支配するため都を大都(北京)に移し、国号を元と定めると、高麗を全面的に服属させ、日本に対してたびたび朝貢を強要してきた。

8代執権北条時宗は、これを拒否したため、元は二度にわたって九州沿岸に襲来した。^(a)幕府は元をからくも撃退したが、御家人たちに多大な犠牲を払わせる一方、十分な恩賞を与えることができなかった。また御家人たちの多くは、〔 ① 〕たうえ、貨幣経済の発展に巻き込まれて窮乏していった。

幕府は窮乏する御家人を救う対策をとり、1297(永仁5)年には永仁の〔 ② 〕を發布し、御家人の所領の質入れや売買を禁止して、それまでに質入れ、売却した御家人領を無償で取り戻させ、御家人が関係する金銭の訴訟を受け付けられないなどの対策をとった。

中小御家人の多くが没落していく一方で、経済情勢の転換をうまくつかんで勢力を拡大する武士も生まれた。とくに畿内やその周辺では、荘園領主に対抗する地頭や非御家人の新興武士たちが、武力に訴えて年貢の納入を拒否し、荘園領主に抵抗するようになった。これらの武士は当時悪党^(b)と呼ばれ、その動きはやがて各地に広がっていった。

問1. 下線部(a)について、8代執権の時宗は、5代執権時頼以来の北条氏の嫡流であった。この嫡流の当主を何と呼ぶか。正しいものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 摂政 (イ) 管領 (ウ) 得宗 (エ) 御内人

問2. この時期の御家人の窮乏の構造的原因について、〔 ① 〕に当てはまる文章として正しいものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 分割相続の繰り返しによって所領が細分化され
(イ) 長子相続の繰り返しによって所領が没収され

- (ウ) 分割相続の繰り返しによって所領が没収され
- (エ) 長子相続の繰り返しによって所領が細分化され

問3. [②]に当てはまる言葉を、漢字3字で正確に答えなさい。

問4. 下線部(b)について、(1)～(2)に答えなさい。

(1) 大覚寺統から即位したのち、悪党などの勢力を味方につけて倒幕を企図した天皇として正しいものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 光厳天皇 (イ) 後醍醐天皇 (ウ) 亀山天皇 (エ) 後小松天皇

(2) (1)の天皇が行った新政の内容について誤っているものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 年号を建武と改めた。
- (イ) 幕府も摂政も関白も否定して、天皇への権限集中をはかった。
- (ウ) すべての土地所有権の確認は天皇の綸旨と、幕府の引付を受け継いだ雑訴決断所の承認を必要とするという趣旨の法令を打ち出した。
- (エ) 諸国には国司と守護を併置し、東北・関東地方にはそれぞれ陸奥將軍府・鎌倉將軍府を置いて統治させた。

B : 江戸幕府後期の天保年間にあたる1832～33(天保3～4)年には収穫が例年より半分以下の凶作となり、全国的に米不足をまねいて、きびしい飢饉に見舞われた。農村や都市には困窮した人々が満ちあふれ、百姓一揆・打ちこわしが続発したが、幕府・諸藩はなんら適切な対策を立てることができな^(c)かった。

1836(天保7)年の飢饉はとくにきびしく、大坂のような都市部でも、餓死者があいついだ。しかし、富裕な商人らは米を買い占めて暴利を得る一方、大坂町奉行は窮民の救済策をとることもなく、米不足にもかかわらず大坂の米を大量に江戸に回送していた。これをみた大坂町奉行所の元与力で [③]者の大塩平八郎は、1837(天保8)年に、貧民救済のために門弟や

人々を動員して武装蜂起したが、わずか半日で鎮圧された。

このような問題に対応するため、幕府は1841(天保12)年、12代将軍家慶のもとで老中水野忠邦を中心に天保の改革を行った。水野忠邦は、過去の改革^(d)にならぬ、まず将軍・大奥も含めた断固たる儉約令を出し、ぜいたく品や華やかな衣服を禁じ、庶民の風俗もまたきびしく取り締まった。

そして、江戸の物価騰貴の原因は、商人たちによる商品流通の独占だと判断して、株仲間の〔④〕を命じた。しかし、物価騰貴の実際の原因は、生産地から上方市場への商品の流通量が減少して生じたもので、株仲間の〔④〕はかえって江戸への商品輸送量を乏しくすることになり、逆効果となった。また物価騰貴は、旗本や御家人の生活も圧迫したので、幕府は棄捐令^(e)も出し、あわせて札差などに低利の貸し出しを命じた。このような生活と風俗へのきびしい統制と不景気とが重なり、人びとの不満は高まっていった。

問5. 下線部(c)について、天保期の前半は11代将軍徳川家斉の在職の末期にあたる。家斉は文化・文政期を中心に統治したが、文政年間には商人の経済活動も活発となり、都市を中心に庶民文化の華が開いた。この文化・文政期の教育文化として誤っているものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 蘭学者緒方洪庵が適々齋塾を大坂で開いた。
- (イ) オランダ商館医であったシーボルトが、鳴滝塾を長崎郊外に開いた。
- (ウ) 儒学者広瀬淡窓が咸宜園を豊後日田で開いた。
- (エ) 古学派の伊藤仁斎・東涯父子は古義堂を京都堀川で開いた。

問6. 大塩平八郎は、知行合一の立場で現実を批判してその矛盾を改めようとする革新性のある学問の徒であった。その学の名称について〔③〕に当てはまる語句として正しいものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 朱子学 (イ) 心学 (ウ) 水戸学 (エ) 陽明学

問7. 下線部(d)について、水野は8代将軍吉宗による改革や、松平定信による改革にならって自身の改革を実行しようとした。この二つの改革の名称と実施された順番の組み合わせとして正しいものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 先 享保の改革 — 後 寛政の改革
- (イ) 先 正徳の政治 — 後 寛政の改革
- (ウ) 先 寛政の改革 — 後 享保の改革
- (エ) 先 享保の改革 — 後 正徳の政治

問8. [④]に入る言葉として正しいものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 結成
- (イ) 再結成
- (ウ) 分散
- (エ) 解散

問9. 下線部(e)について、天保の改革として幕府が行った政策として正しいものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 頻発する金銀貸借についての争いを幕府に訴えさせず、当事者間で解決させるために相対済し令を出した。
- (イ) 長崎貿易で、多くの金銀が流出したので、これを防ぐために、海舶互市新例を発した。
- (ウ) 上知令を出し、江戸・大坂周辺のあわせて約50万石の地を直轄地にして、財政の安定や対外防備の強化をはかろうとした。
- (エ) 物価や米価の調節をはかってその引下げを命じ、ついで正業をもたないものに資金を与えて農村に帰ることを奨励する旧里帰農令を発した。

C : 第一次世界大戦が終結してヨーロッパ諸国の復興が進み、その商品がアジア市場に再登場してくると、日本経済は苦境に立たされることになった。1919(大正8)年から貿易は[⑤]超過に転じ、とりわけ重化学工業は[⑤]品が増加して、国内の生産を[⑥]した。1920(大正9)年には、^(f)株式市場の暴落を口火に戦後恐慌が発生した。 ついで、1923(大正12)年には、

日本経済は関東大震災で大きな打撃を受けた。

銀行は、手持ちの手形が決済不能となり、日本銀行の特別融資で一時をしのいでいたが、不況が慢性化する中、決済は進まなかった。1927(昭和2)年には、片岡直温蔵相の失言から、一部の銀行の不良な経営状態が暴かれ、〔 ⑦ 〕がおこって銀行の休業が続出した。これを金融恐慌という。

時の若槻礼次郎内閣は、経営が破綻した鈴木商店に対する巨額の不良債権を抱えた台湾銀行を緊急勅令によって救済しようとしたが、枢密院の了承が得られず、総辞職した。ついで、成立した立憲政友会⁽⁸⁾の田中義一内閣は、3週間の〔 ⑧ 〕を発し、日本銀行から巨額の救済融資をおこない、全国的に広がった金融恐慌をようやくしずめた。

問 10. 第一次世界大戦後の国際経済と国内生産の関係について、〔 ⑤ 〕と〔 ⑥ 〕に入る語句として正しい組み合わせを1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) ⑤ 輸出 ⑥ 圧迫
- (イ) ⑤ 輸入 ⑥ 圧迫
- (ウ) ⑤ 輸出 ⑥ 刺激
- (エ) ⑤ 輸入 ⑥ 刺激

問 11. 下線部(f)について、戦後恐慌の中で、大衆運動も盛んになった。この時期に盛んになった大衆運動の現れとして誤っているものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 産業組合の拡充などを通じて、農民を結束させて「自力更生」をはからせた農山漁村経済更生運動がおこった。
- (イ) 農村でも小作料の引下げを求める小作争議が頻発し、杉山元治郎・賀川豊彦らによって、全国組織である日本農民組合が結成された。
- (ウ) 社会的差別を政府の融和政策に頼ることなく自主的に撤廃しようという運動が本格化し、全国水平社が結成された。
- (エ) 平塚らいてうや市川房枝らによって、新婦人協会が設立され、参政権の要求など女性の地位を高める運動を進めた。

問 12. [⑦]に入る語句として正しいものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 五・一五事件
- (イ) 二・二六事件
- (ウ) 取付け騒ぎ
- (エ) 買い占め騒ぎ

問 13. 下線部(8)について、立憲政友会に関連した事項として誤っているものを以下から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 1900(明治33)年に伊藤博文を総裁として結成された。
- (イ) 山本権兵衛は、立憲政友会を与党として内閣を組織し、軍部大臣現役武官制を改めて、官僚・軍部に対する政党の影響力の拡大につとめた。
- (ウ) 立憲政友会総裁の原敬は、選挙権の納税資格を3円以上に引き下げ、小選挙区制を導入した。
- (エ) 立憲政友会の浜口雄幸内閣は、蔵相に井上準之助前日銀総裁を起用し、財政を緊縮して物価の引き下げをはかり、産業の合理化を促進して国際競争力の強化をめざした。

問 14. [⑧]に入る適切な語句をカタカナ6字または漢字5字で正確に答えなさい。